

eX CLT Ver.3.7 運用補足資料

クオリティ株式会社

本文書について

本文書は、eX CLT Ver.3.7 を運用する上で注意が必要な項目について記述しているものです。本文書およびマニュアルに記述されている内容を確認された上で製品を運用していただきますよう、お願いいたします。

1. eX CLT Ver.3.6 からのサーバーバージョンアップについて

eX CLT Ver.3.6 をご利用中の場合、サーバモジュールのバージョンアップ前に Ver.3.6 SP1 または Ver.3.6 SP2 へアップデートしていただく必要があります。

アップデートを行わずに Ver.3.7 のアップデートインストールを実行した場合、インストール処理中にエラーが検出され、インストールが失敗することが確認されています。

2. eX CLT Ver.3.7 サーバインストール後に必要な作業(1)

eX CLT Ver.3.7 サーバセットアップ後、分割 DB サービスの設定を行っていただく必要があります。特に、eX CLT Ver.3.6 からバージョンアップされている場合は、「eX CLT3.7(導入・メンテナンスマニュアル)」の46ページ記載の手順で設定内容を確認いただいた上、「OK」ボタンをクリックすることにより設定内容を再登録して頂く必要があります。この作業が行われない場合、分割 DB サービスが「エラー207」を検出し分割処理が正常に機能しない場合があることが確認されています。

【「エラー207」が出た場合の対処方法】

バージョンアップインストール後、CLT コンソールの「ツール」メニュー→「サーバ設定」を実行し、「OK」ボタンを押下してください。

3. eX CLT Ver.3.7 サーバインストール後に必要な作業(2)

eX CLT Ver.3.7 サーバセットアップ後、データベースの最適化を行うため、DB キー変更ツールを実行していただく必要があります。これを実行することにより、FileOperation ログの時系列をより細かく管理できるようになります。

以下の手順で作業を行ってください。

① データ変換の準備

CDに同梱されているユーティリティをCLTServerがインストールされているコンピュータの任意のディレクトリにコピーします。

コピーするもの:

「CD ドライブ:¥サポートツール¥DB キー変更ツール」フォルダ全体

② ユーティリティの起動

ConvKey.exe を実行します。

③ 実行結果の確認

実行結果ログ (ConvKey.log、ConvKey SQL.log) が ConvKey.exe が置かれているフォルダに作成されますので、実行結果を確認します。

ConvKey SQL.log に

実行時間 :X.XXX 秒

のように記録されていればユーティリティは正常終了しています。

注: X.XXX は処理に要した時間を示します。

4. ユーザ名の小文字変換について

(eX CLT Ver.3.7 を新規にご利用いただく場合にはこの対処を行う必要はありません。)

eX CLT Ver.3.6 (SP1、SP2 を含む) を、ユーザ識別区分として「ユーザ名」を使用して運用中の場合、全クライアントのバージョンアップが完了した時点でユーザ名の変換を行うことが必要です。

eX CLT Ver.3.7 では、クライアントから送信されたログオンユーザ名は、全て小文字に変換されてログデータベースに登録されます。

(Ver.3.6 では、ユーザ名はコンピュータ上で入力されたままの形式でログデータベースに登録されていました。)

例: ログオンユーザ名が「Yamada_Taro」の場合

eX CLT Ver.3.6 の DB 登録内容: Yamada_Taro

eX CLT Ver.3.7 の DB 登録内容: yamada_taro

このため、両バージョンのデータがデータベース上に混在している場合、同じユーザが作成したログであるにも関わらず、CLTConsoleでの閲覧では異なるユーザのログのように表示される場合があります。

この状態を解決するためにのツールを近日中に提供いたします。

また、ツールを実行することで以下の注意が必要となります。

注) 例えば、eX CLT Ver.3.6ではログインユーザ名「Admin」「admin」「ADMIN」は、全て異なる別のユーザとして管理されましたが、ツールの実行後はこれらのユーザは全て「admin」(小文字)に変換され、1つのユーザとして管理されます。ログを閲覧の際はご注意ください。

5. ユーザ名が小文字に統一されることでの注意事項

eX CLT Ver.3.6よりご使用のお客様で、ユーザ識別区分を「ユーザ名」で運用されているお客様は必ずお読みください。

(新規にeX CLT Ver.3.7をご導入頂く場合には関係ございません)

eX CLT Ver.3.6では、ユーザ名の大文字・小文字を区別していましたが、eX CLT Ver.3.7より区別されず小文字で登録されます。

そのため、バージョンアップすると大文字を含むユーザ名は小文字となり、新たに小文字のユーザ名が”未設定ユーザ”というグループに登録され、大文字と小文字のユーザ名がコンソール上に存在することになります。

新たに登録された小文字のユーザは”未設定ユーザ”に登録されるため、各種ログの監視設定は”未設定ユーザ”の設定が適用されますので、監視設定の変更をお願いします。

バージョンアップ後は小文字のユーザにログが登録されますので、監視設定の変更や、最新のログを閲覧する場合は小文字のユーザをご参照ください。

以上